



広島国際学院



時代の流れをリードする副専攻
学科横断型教育プログラム

「特集」自動車短期大学部
自動車火災の研究と事故防止 …… 2

2級自動車整備士国家試験の実績 他
短期大学部 3・4

主任教授就任にあたって …… 5

中野まめでがんす講座 …… 5

超氷河期に負けず明るく
学生の思いを大切に 工学部 …… 6

時代をつくる 元気をつくる 現代社会学部 …… 7

高校から発信 高等学校 …… 8

あれこれ多彩な学友会行事 …… 9

はじめまして ようこそ 新任教職員紹介 …… 10

今は懐かしく ゾンビアにありがとう …… 11

学生時代の思い出と社会人になって思うこと …… 12

私の大学生生活 …… 12

研究室紹介 …… 13

茶会 野点の席 合同入学宣誓式 …… 14

本学初プロゴルファーの誕生 …… 15

講演会・公開講座へどうぞ …… 15

学生が「地域のお役に立ちます」 …… 16

すごい! 世界学生アーチェリー選手権大会に出場 …… 16

広報
第50号
平成14年7月1日発行



聴衆を惹き付けた

自動車火災の研究と事故防止 全国自動車短期大学研究発表会

自動車火災は増加の一途をたどっている。本学の研究は広島市消防局と合同の取り組みへと広がりを見せている。このたびの研究発表は全国的に注目を集めた。

1. はじめに

自動車の安全に関する問題の一つに車両火災（防止）がある。車両火災は、一度発生すれば重大事故につながり、生命を脅かす危険さえ含んでいる。このたびは、火災原因や出火部位等の実態を調査し、それに基づき、一部、確認のための火災実験を行ったので報告する。

お ち みちひこ はん だ じょうじ
越 智 三千彦 = 講師 ・ 半 田 讓 治 = 講師

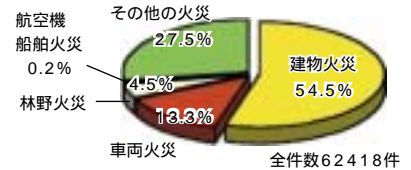


図1 平成12年 火災の種類別分類(全国)

2. 火災の発生状況

全国における「車両火災」はここ10年間で約1.35倍に増加した。平成12年の全火災の内訳を図1に示す。車両火災は、約1時間に1件の割合で発生している。

図2は広島市を中心とした過去5年間における車両火災の発生件数である。年毎の変動はあるが、全国と同様に増加傾向にある。また車種別では、図3に示すとおり乗用車が最も多く、貨物車、二輪車と続く。

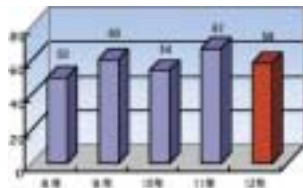


図2 過去5カ年の車両火災の推移(広島)

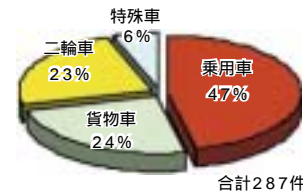


図3 自動車火災の車種別分類(広島)

3. 出火の原因

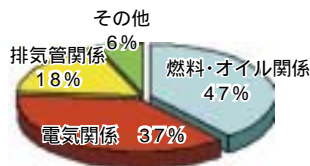


図4 部位・系統別による分類

出火の原因を、部位・系統別に見たものを図4に示す。燃料・オイル関係と電気関係が大半を占め、次いで排気管関係となる。また、人為的要因としては点検・整備不良や不適切な部品の後付、ならびに放火が絡んでいる。

自動車短期大学部
環境を護る
環境
くるま社会に貢献

4. 火災実験

放火によくあるケースから、タイヤに新聞紙で着火し、時間の経過に伴う延焼状態を確認した(写真1・2)。



写真1 3分経過



写真2 10分経過

5. むすび

防火対策は年々向上しているが、現実には自動車火災の発生件数は予想外に多く、しかも年々増加しつつある。規制緩和により車体の改造が比較的自由になったが、部品や取り付けの不良から火災に至った例も多々ある。

自動車火災においては現物が焼損してしまうことが多く、正確な原因究明がしばしば妨げられる。原因調査・分析技術の向上が重要である。

2級自動車整備士国家試験の実績

2級ガソリンの合格率 = 98.5%

2級ジーゼルの合格率 = 100%

3月24日(日)、2級自動車整備士の国家試験が実施された。
卒業生132名中130名が2級ガソリンに合格し、98.5%という高い合格率を達成した。

	受験者数	合格者数	合格率
2級ガソリン	132名	130名	98.5%
2級ジーゼル	37名	37名	100.0%



個人指導...パソコンで勉強!

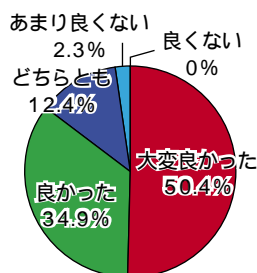
本学部では、2級自動車整備士国家試験の合格率100%を目指して、前期・後期特別講習会、習熟度別勉強会、個人指導等、学生一人ひとりに合った指導を行っている。卒業時のアンケート調査によると、「講習会の満足度」は「大変良かった」、「良かった」と回答した学生は85.3%であった。



勉強会...学生と教職員の努力は続く!

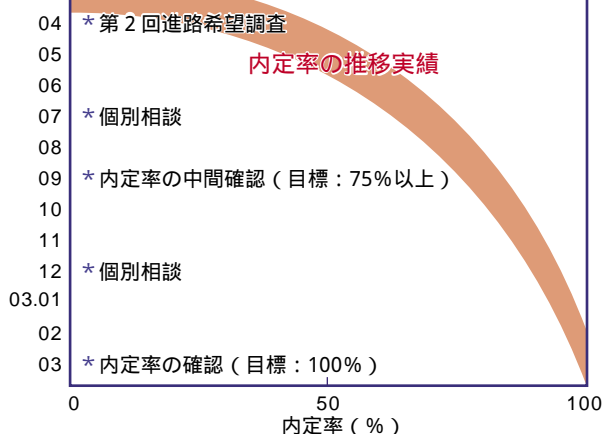
講習会について学生の一言

人生これ程勉強したことがなかった。
勉強は、あまり得意ではなかったけど、はじめておもしろいと思った。

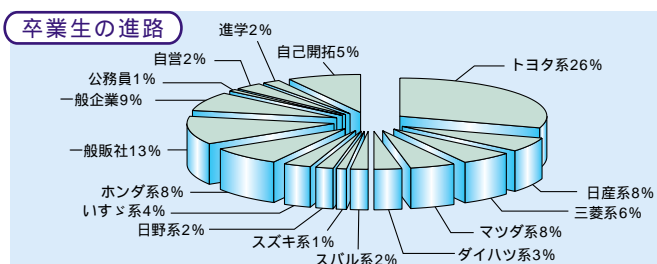


“就職率100%”を継続する!

- 01.09 * 第1回進路希望調査 個別相談開始
- 12 * 学生が会社訪問開始
- 02.01 * 各企業に求人依頼、保護者懇談会
- 02 * 自動車メーカー・ディーラによる技術講演・会社説明会
- * 企業が採用試験開始



学生の就職活動をサポート



卒業生が技術講演

オープンキャンパス

自動車短期大学部

本年度は7月28日(日)と
9月29日(日)

自動車の好きな人は大集合



近年、本学部のオープンキャンパスは盛況である。本年度も拡充に向けて準備を進めている。例年2回実施しているが、昨年度は第1回見学会に高校生59名、保護者30名、計89名が参加した。第2回の参加者は高校生63名、保護者30名、計93名であった。



人気一番！試乗テスト



低公害の電気自動車

生徒に対するアンケートによると、参加者の43%が高校の先生の

薦めで参加しており、本学部の高校訪問が奏功していることが分かる。「見学会で知りたい」ベスト3は①施設・設備②学科の内容と特色③取得できる資格であった。賞品つきのクイズゲームも好評で、「ハリー・ポッター」など、タイムリーな出題があった。スタンプラリー式の学内見学では「走行性能診断装

置による試乗テスト」が最も人気があり、「エンジン作動」「電気自動車の試乗」などがこれに続いた。

本学部では、全教職員が役割分担して、参加者へのサービスに当たっている。その熱意が通じてか、オープンキャンパスに来た高校生の8割が本学部の推薦入試を受験している。

長距離を堪えて通学

初の学長賞

2年間皆勤

たま え こういち
玉江浩一さん



玉江さんの実家は愛媛県北条市にある。実家の自動車整備工場を継ぐため本学部に入學した。下宿も考えられたが、家庭の事情で実家から通学することに決めた。

北条市から波方港まで片道30km、波方港から竹原港までフェリーで70分。竹原港から瀬野の本学部まで片道40km。通学時間は往復5時間を要する。家を出発するときも帰宅するときも暗闇ということが多かった。

病気や悪天候にもめげず不屈の精神で2年間無遅刻無欠席を通し、その上極めて優秀な成績で卒業した。彼の生活態度は後輩のよき手本になると、このたび創立以来の「学長賞」が授与された。

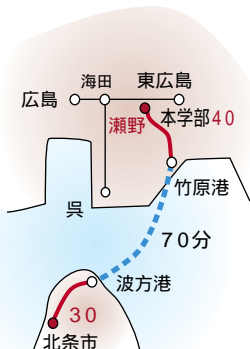
実習設備紹介シリーズ⑤

ユニバーサル・ベンチテスタ

このテスタは、自動車電装品の良否判断、機能・性能テストに用いられている。テスト可能な電装品としては、オルタネータ、レギュレータ、イグニッション・コイル、ディストリビュータ、スタータなど。部品単位でテスト及び調整を行うことができる。

● テスト内容

- 1 オルタネータ無負荷・負荷特性テスト
- 2 レギュレータ制限電圧・電流テスト
- 3 イグニッション・コイル一次電流、二次電圧テスト
- 4 ディストリビュータ進角特性テスト、火花角度テスト
- 5 スタータ無負荷・負荷特性テスト



熱意を持って教育を！

共通基礎講座主任教授

尾田年充



この度、松坂先生の後を受けて共通基礎講座主任教授に命じられました。1年次の学生は極めて多様化していますが、共通基礎講座の役割のひとつは、彼らが大学での学習を円滑に始め、視野のひろい人間形成ができるように指導することであると考えます。同時に、専門教育との橋渡しも重要であります。さらに、わが工学部では専門にとらわれない分野の教育も重視され、いわゆる副専攻プログラムも始まりました。これにも共通基礎講座は大きく寄与する計画です。

これらの改革の実現には、いうまでもなく多くの困難を伴うが、共通基礎講座の教員は、現在大いなる熱意をもって学生の教育に当たろうとしております。主任の役目は、講座の運営が支障無く行われるように、世話役をつとめることと受けとめております。皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。

主任教授就任にあたって

良質で丁寧な授業を！

機械工学科主任教授

李木経孝



この度、凶らずも機械工学科の主任を仰せつかりました。大学の変革が求められている大切な時期、ベテランの先生方が揃っておられる機械工学科の運営を託された責任の重さは計り知れないものがあります。大学の社会的使命は、教員がそれぞれの専門分野で旺盛な研究活動を行い、これをベースにして学生に良質で丁寧な教育を行うことであり、これは昔から変わりません。

しかしながら、大学を取り巻く環境の変化に適応して、慣例や前例にとらわれない大胆な発想とこれを実行する手法がますます必要となってきたことも否めません。幸いなことに、機械工学科には熱心で有能な先生方が多く、私としては、この先生方が教育と研究の両面に持てるエネルギーを発揮し、さらに魅力ある学科として新しい特色が創りだせるよう、学科の世話役に徹したいと考えております。困難な時期を乗り切り、優秀な機械工学エンジニアを養成し続けるために、共に努力するつもりですので、よろしく願いいたします。



やさしく分かりやすい講演

「共に生きるということ」 ～世界の人権から～

地域共同教育研究センター

講師 現代社会学部 教授 中野 秀一郎

このほど、中野学区老人クラブ連合会と中野公民館主催の「まめでがんす講座」が開かれた。現代社会学部中野秀一郎先生が講演した。

「今日は中野から少し離れて、広く世界全体を見ながら考えてみましょう」と切りだし、最初に『人

権』とは何かという問題を歴史的に解説した。

そして、世界で起こった非人道的なことがらを検証し、民族浄化の対極にある民族共存について世界の現実を考えた。また、人権侵害の対象になりやすい社会的弱者と呼ばれる人々の権利主張問題にも触れ、法律を中心として物事を解決しようとする姿勢を話した。

中野公民館の会場は、老人クラブ連合会会員で一杯だった。それぞれ熱心にメモをとり受講していた。

中野まめでがんす講座



喜びと緊張感が伝わる

博士の学位 2名に授与される

大学院工学研究科の博士課程は、材料工学と計測制御の2専攻をもって平成11年度から開設されている。このほど、各専攻1名の計2名に待望の博士(工学)号が授与された。両名はいずれも本学大学院の工学研究科修士課程を修了後博士課程に入学し、3年間の研鑽を経て喜びの博士の学位取得となった。今後いっそうの活躍が期待されている。

はっとり しゅういちろう
服部秀一郎君 論文題目 「磁気による活性汚泥法排水処理の改良」

よこやま たかし
横山 隆志君 論文題目 「ネットワークコンピューティングシステムにおける負荷分散問題に関する研究」

ゆったり学習室を開く 気軽に活用できる

共通基礎講座では、多様化している学生の理解を助けるため、この4月から学習支援相談室を設けている。毎週金曜日の15時から17時に、2名の教員が交代で相談室に待機し相談に応じる。当番教員の専門外の質問には、その場で担当教員に連絡して対応してもらおう。学生から希望があれば、都合がつくかぎり別の曜日にも質問を受けることにしている。

学生が自発的に質問や相談にくることは少ない。そこで数学について一つの試みをした。微分積分の課題を与え、解けない学生は相談室で個人的に指導すると案内し、開室日時もあわせて予告した。

その日は特別に、数学の教員全員と非常勤講師が対応。約2時間で40名を超える学生(主に1年生)が詰め掛けた。問題の解法をやさしく説明すると、学生は日ごろ疑問に思っていたことがいくつか理解できたと喜んでいった。

今後、学生の自発的な学習意欲を高めるために、教員側も積極的に働きかけてこの学習支援相談室を活用していきたい。



熱心な自習とわかりやすい個人的指導

3次元CADの授業は楽しいー

近年、各種企業や教育機関では機械設計の3次元化がなされつつある。本学もその波に乗り遅れないために、昨年度よりCADのグレードアップを検討してきた。その結果、3次元CADソフト『solid - Works2001PLUS』を導入し、機械工学科4年生を対象に今年4月から教育を開始した。はじめは受講者数を制限し、学部生2人に対しCADを1台割り当てて講義していた。その後、熱心な大学院生7名が単位取得の有無に関係なく受講を希望する等で、CADがたいへん不足している状況にある。学生たちのために、今後さらにCADの数を増やし、講義を拡充させていきたい。



ヤル気の授業!

火事だー 大声をはりあげる! - 防火訓練 - 消火器の使用体験

新入生ガイダンスにあわせ、4月10日(水)に中野キャンパスで防火訓練が行われた。まず、海田地区消防署長の福本義弘氏から防火についての講話があった。続いてグラウンドで消火訓練が実施された。火事を見つけたらまず大声で周りに知らせること、消火器を用いて早いうちに消し止めることを実地に学んだ。慣れない消火器に、学生たちはおっ



火事だあー

の声が小さいと言われても...

— 新入生歓迎会 —

- 国際学院の元気は人の元気 -

キャンパスデビュー

~先輩たちに
温かくむかえられて

入学式の余韻が残る4月8日(月)、新入生歓迎会が盛大に開催された。晴天に恵まれ、ソフトボール大会や展示会、ミニ・オリンピック、模擬店などで新入生を迎えることができた。

ソフトボール大会は、新入生と上級生・教職員の混成10チームによるトーナメントで行われた。元気一杯に躍動する新入生に負けじと日頃は運動不足の教職員もこの日ばかりは全力(?)で駆けまわるなど、グラウンドには終始歓声が響いていた。伊藤プレゼミ・チームが長打力で他を圧倒し、優勝した。

また校舎内では、国際交流に関心を持つ上級生を中心に「アルゼンチンを知ろう」と銘打った展示会が行われた。その他「ミニ・オリンピック」も開かれ、たこ焼きの模擬店も歓迎会に華を添えた。



打った！走った！



格別！集いの味



新入生！全員集合

終了後、食堂でソフトボール大会の表彰式が行われ、優勝した伊藤チームに学部長杯が贈られた。ささやかではあるがミニ・パーティーも開かれ、和やかなムードのうちに幕を閉じた。

はじめはやや緊張気味の新入生も見られたが、終了する頃にはお互いにすっかり打ち解けていた。新入生の大学生活が実り多いものであることを確信させるような一日であった。

研究の先端：14年度文部科学省科学研究費交付 4人に1人

近年「科研費」の応募・交付件数は大学ランキングや信頼度の主要な指標となっている。現代社会学部では今年度7件の交付が決定した。交付率は学部教員全体の25%にのぼり、全国でもトップレベルに位置する。今後も現代社会学部は研究の成果を出し、授業だけでなく社会にも実践的な知を還元したい。

基盤C	南 憲明	標本化格子の位相変調に基づく電子透かしの開発と静止画像への対応に関する研究
	好井裕明	「ヒロシマ」のエスノメトロロジー：映画にみる「ヒロシマ」表現の解釈・その変遷
	澤田善太郎	構造調整下での自動車産業労働者の仕事意識
若手B	定松 文	「低開発」悪環境モデルの検証：コルシカの地域開発を中心にして
	伊藤 泰 郎	北海道在住アイヌ民族の生活実態と北海道ウタリ福祉対策に関する研究
	田中里美	高齢者の生活システムの再編行動に関する実証的研究
	眞鍋知子	「地域婦人会」の現代的機能と新たなネットワーク形成

授業より楽しい?!

身だしなみセミナー



びっくり！メイク実技講習

企業が新卒採用を抑制する中でさらに苦戦を強いられるのが女子学生である。現代社会学部では4月10日

(水)、就職支援の一環として『身だしなみセミナー』を開催した。大手化粧品会社から講師を迎え、メイク法や立ち居振る舞い、マナーまで説明を受けた。学生にはそれぞれの長所を好ましく、また美しくアピールしてぜひ希望職を勝ち取ってほしいものである。

高校 から発信



明るく楽しい高校生活にしたい!



春暖の4月9日(火)、第56回入学式が盛大に挙行された。新しい制服に身を包んだ新入生408名は校庭の花々に迎えられ、緊張した面持ちで会場に入っていた。多数のご来賓の臨席のもとに入学許可、式辞、新入生代表の力強い宣誓があり、厳粛かつ盛大にとりおこなわれた。吹奏楽部の歓迎演奏が緊張した雰囲気を和ませた。新入生はそれぞれ教室に入り、高校生活のスタートを切った。



やったあ!
全国大会第5位
女子柔道

女子柔道部の平岡由紀選手(普通科3年)が、昨年に続き全国高等学校柔道選手権大会に出場した。昨年は、2回戦で準優勝者にポイントを取っていながら残り30秒で惜敗した。

今年の目標をベスト4としたが、大会直前の練習で負傷し、十分な練習ができずに出場することになった。しかし、本人の精神的な強さと努力で、1回戦から3回戦まで得意の内股ですべて有効・技ありと圧倒的な強さを見せた。準々決勝で実力NO1の村山(長野県)と対戦する。身長で優る相手にガブリ組みすぎて敗れた。

平岡選手は1時間40分もかかる遠距離通学ながら、学業も練習も熱心に取り組み、各大会でも優秀な成績を挙げている。

マルチメディア教室が整備された

今回、待望の「マルチメディア教室(情報特別教室)」が完成し、情報教育推進の拠点としての活動が始まった。マルチメディア教室の設置概要は次のようなものである。

◎基本的な考え方

- ①コンピュータ活用能力の浸透をはかる
- ②インターネット・メールを日常の学習に導入し、日常生活に利用する能力を育てる
- ③新教育課程に必修教科となる「情報」の授業に対応できる内容にする
- ④静止画・動画の活用をはかる(マルチメディア化)
- ⑤校内の情報教育推進の拠点となるような設備内容にする
- ⑥情報教育以外の他教科の利用・活用を推進する。

◎内容

- ①情報授業としては、ワード・エクセル等の基本的なものから、パワーポイント等を利用したプレゼンテーションまで行う
- ②インターネット・メールが出来るようにする
- ③教室内LANを組み、教師・生徒間のデータの配信が出来る
- ④画像処理などマルチメディア対応
- ⑤サーバにて、データ格納
- ⑥その他

◎機器備品

- ①サーバ機器2台(ファイル・プリントサーバ、メールサーバ)
- ②コンピュータ機器(教師用2台、生徒用44台、スキャナ)
- ③プリンタ機器(レーザーカラープリンタ3台)
- ④ネットワーク機器
- ⑤音響機器関連
- ⑥映像機器関連(主装置、液晶プロジェクター2台、DVD、デジカメ)
- ⑦その他必要機器備品を設置。

このマルチメディア教室は、従来製図教室として使用していた東袖館3階(床面積 約163㎡)を改造して完成した。床を上げ、配線等は床下に収納し、天井を張替えて間接照明とするなど構造的にもマルチメディア教室にふさわしいものになっている。また、前後に大型スクリーンを設置してプロジェクターで映写でき、授業説明やプレゼンテーションにも利用できるようにしている。さらに、パソコン管理の面から電源入力時にすべて初期設定時の状態にリセットされるようにしている。現在は、総合システム科のパソコン実習で活用しているが、平成15年度から導入される新教科「情報」で活用し、情報教育推進の拠点として充実していくことが期待される。



整備されたマルチメディア教室

あれこれ多彩な学友会行事

良き仲間との出会い ～交流と体カづくり～

工学部の平成14年度新入生オリエンテーションが4月20日(土)に実施された。今年は従来の方式を改め、学科ごとの開催となった。カリキュラムを説明し教員の紹介をするほか、それぞれに工夫を凝らして新入生を迎えた。



ビンゴゲーム(情報)



学生会館で交流(電気)



ソフトボールで汗かいた!(機械)

情報工学科は昼食時にビンゴゲームで盛り上がった。メディア情報通信学科はボウリングを楽しんだ。電気工学科(ヒューマンライフ電気電子工学科に改称予定)も食堂で歓談し、機械工学科はソフトボールの試合で一丸となった。



ボウリングの前の食事会(情報通信)

オリエンテーション



つい本気になる!ソフトボール

6月2日(日)上瀬野キャンパスグラウンドで第33回ソフトボール大会が実施された。今年は参加者が多く3リーグ12チームとなり、応援も含めて250名が集まった。元気いっぱいプレーがいろいろ見られた。「珍プレー番組」も作れそうであった。本年になって一番暑い日。皆が心地よい汗をかいて明るく楽しい1日を過ごした。現代社会学部のパナチームが優勝して歓喜にわいた。

ソフトボール大会

5月は交流とスポーツ月間 みんなの気持ちと身体が やわらかくなる

- ・個人の部
 - 1位 高橋 宏実(現社)
 - 2位 岡 照人(機械)
 - 3位 林 友輔(電子)
- ・団体の部
 - 1位 バスケットボール部
 - 2位 アーチERY部
 - 3位 サッカー同好会

第19回学長杯マラソン大会が5月19日(日)、中野キャンパス周辺で行われた。高城体育館前を起点とし、瀬野川に沿った3kmのコース。新緑のもと81名のランナーが快走した。学長自らスタート台に立ち、選手を送り出した。成績は次のとおりである。

マラソン大会



粘り強さではまけないぞ!

4月27日(土)、五日市ファイブスターにてボウリング大会が実施された。本学をはじめ近隣各大学から計56名が出場した。本学からは4組8名が参加した。他校の学生とコミュニケーションをとる貴重なチャンスでもあり、皆多に楽しんでいた。

ボウリング大会



エイ! ガータじゃない?

はじめまして

ようこそ

新任教職員紹介(敬称略)



情報工学科
教授
田崎 三郎
(たざき さぶろう)

学生諸君。是非自分の将来にクリ
アなビジョンをもち、自分のもてる
力を最大限に発揮してほしい。さす
れば、君らの将来は自ずと開けてく
るだろう。そのような前向きの人を
私は大いに支援していきたい。



共通基礎講座
教授
南波 辰郎
(なんば たつお)

青春時代はあらゆる可能性に満ちて
います。そのような皆さんと共にカ
レッジ・ライフを楽しみたいと思ひ
ます。どうかよろしくお願ひいたし
ます。



共通基礎講座
助教授
日高 敬二
(ひだか けいじ)

趣味や仕事に関連することを随分
やってきた。頑張ればそれ相応にあ
る程度の域までは達する。しかし、
やはり若いとき熱中したものによつ
て活かされているように思う。青春
まっただ中にある皆さん、未知の自
分にチャレンジしてみよう。



共通基礎講座
講師
城戸 光世
(きど みつよ)

専門はアメリカの文学と文化ですが、
この21世紀の国際社会で活躍する未
来を担っている学生の皆さんのために、
英語学習や異文化体験、あるいは日々
の大学生活の些細な点でも、色々お
手伝いできればと思っています。



自動車短期大学部
講師
大田 次郎
(おhta じろう)

三菱自動車整備専門学校で教員を
勤めていました。今回母校に奉職す
ることになりました。今までの経験
のよいところを取り入れながら、ま
た学生に負けない若さと夢を持ち、
気持ちが通じ合う人間関係を築いて
いきたいと思っています。



高等学校
教諭
庄原 志保美
(そうはら しほみ)

生徒一人ひとりを自分の息子、娘
のつもりで優しく、ときには厳しく
指導しています。
学力保障のため「分かる授業」を
提供することが使命だと思っています。



高等学校
教諭
金田 浩司
(かなた こうじ)

“生徒のために”を第一に3年間
教職を続けてきました。これからも
その精神を貫きながら、広島国際学
院の伝統を守り、更なる発展に貢献
できるよう日々精進していきますので、
ご指導よろしくお願ひいたします。



高等学校
教諭
那須 泰
(なす やすし)

広島国際学院高校の教壇に立たせ
て頂くことを光栄に思っております。
何事にも全力で取り組んでまいります。
ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願ひ
します。



高等学校
教諭
鈴木 浩文
(すずき ひろみ)

初心を忘れず、いつまでも生徒と
ともに成長できる教師でありたいと
思っております。一生懸命がんばり
ますので、ご指導・ご鞭撻の程よろ
しくお願ひいたします。



事務部次長
藤井 重勝
(ふじい しげかつ)

新しい職場に1日でも早く溶け込
んで頑張りたいと思っています。生
来の口下手が災いしているのか、近
寄りが見え、親しくなれるまで
時間がかかるようです。遠慮なく声
をかけるなり、電話或いはメールを
お願ひします。

—新しい出会いを大切にしたい—





エッフェル2

ザンビアで活動中は大変長く思われたのに、帰ってみるとほんのわずかの間に感じます。日本での生活に慣れてしまい、かの地で過ごした毎日はずっと昔のことのようです。

帰国後しばらくは、特にほしい物もないのにスーパーやコンビニに出掛けていました。商品の多さもさることながら、それらを手にとって吟味しながらの買い物がとても懐かしかったのです。ザンビアでは、地方（私の任

地は地方でした）のお店は、たとえば「石鹸がほしい」というと店員が後ろの棚から取りだして売ってくれます。商品を客が直接手にとって見ることはできません。もし、日本のような物の売り方をしていたら、どれくらいのお店が万引き（強盗!?）で潰れるのでしょうか。そもそも選ぶほどの品数もないので、迷う必要もなかったのです。

それにしても、日本は車の多いこと。改めて車社会なんだなーと思い知りました。しかもすべて「ちゃんとした車」で感心してしまいます。ザンビアでは、ガラスが割れているのは当たり前。ほとんど押しかけ。タイヤは溝なしツルツル。そんな車ばかりでした。「この車、飛ばしてるなー。何キロ出しとるんじゃる？」とメーターを覗きこんだら、『0 km/hr』...。メーターが壊れて、針はびくりとも動く気配なし。ガソリンメーターの表示が、常に『E(空)』というのは、しかしガソリンの高いあの国では正確だったのかもしれない。

雨季と乾季しかなかったザンビアでは、天気予報もいりません。雨季は日本の梅雨のような気候ですが、夕立並の雨が長時間降り続くこともたびたびあります。道が川になってしまい、外出できなかつた日も...

乾季は想像しがたいと思いますが、毎日晴れもしくは曇りです。どんなに曇っても雨は一粒も降りません。毎朝天気予報を見ながら「今日、傘どうしよう...」と悩んでいる今の生活から考えるとうらやましいかぎりです。

英語でのコミュニケーションがうまくできずに起きてしまったハプニングや、文化や習慣、価値観の相違からくる意見の衝突など、毎日様々な出来事がありました。にもかかわらず、とても良い時間を過ごせたとし、また訪れたいと心から思えます。それはザンビアという国や、そこで出会った人々のことを好きになれたからだと思います。

Monze boarding highschoolの生徒や先生のみなさん、ご近所さん、マーケットの野菜売り場のおばちゃんや肉屋のおじさんなど、大勢の方々のお世話になりました。

ザンビアのみなさんに心から感謝しています。

Twalumba kabutu（どうもありがとう）！



木の上から



シニアマンゴウ隊

今は懐かしく ザンビアにありがとうと一っ

青年海外協力隊員

宮本 みやもと

真千子 まちこさん

（平成十一年工学部情報工学科卒業）

— 絵画・写真の寄贈を受ける —

新しい学生会館「ほことり」へ絵画・写真の力作を、次の方々からご寄贈いただいた。

絵画 根本達展 = JR職員 本学附属高校卒業 全国
高校駅伝競争大会区間賞獲得

写真 高田洋一 = 医師 梅田義博 = 酒造業
柿本理海 = 本学教授 河野健次 = 本学教授

心から敬意と感謝を申し上げます。 理事長 西本五郎

「学生時代の思い出と社会人になって思うこと」 「責任を自覚できる社会人に！」

広島自動車工業短期大学 平成8年3月卒業

松井道雄



あと思っていました。

2年目3年目と時が経つにつれて、仕事内容も難しく、またやりがいのあるものとなりましたが、同時に、責任も伴うものとなってきました。お客様のご用命にいかに対応していくかによって、店の信用を得ることも、失うこと

もありました。自分の行動に責任があるのだと考えるながら、仕事をするようになってきました。

今では、車の整備はもろるんやっていいますが、先輩の指導や教育もしなければならぬ立場になったので、自分の行動の一つ一つが周囲に大きな影響を与えます。それをよく考えて仕事をしていかなければならないと思っています。

学生と社会人の違いは、やはり責任があるか無いかということだと思います。これから先、どのような事が起きるか分かりませんが、今の仕事に責任を持って、頑張つてやっていこうと思っています。

私が広島トヨタ自動車株式会社に、エンジンアとして就職してから6年目になります。その間、仕事の内容も変化してきました。

入社1年目は洗車などの細かな作業がほとんどで、整備の仕事はあまりなく、想像とは違っていました。早く先輩のやっている仕事をやりたいな



後輩の指導や教育も！

大学生になったら、絶対サークルに入る！という意気込みで入学したものの、コレというものがありませんでした。なら作ろうと思い、茶道愛好会を発足させました。

初めはやはりうまくいかない事が多く、大変な思いをしました。半年後の大学祭で茶席を設けることを目標に、稽古、準備、資金集めまで、部員数5人という少人数で、力を合わせて取り組みました。特に私は部長の立場で、学友会、文化局、部員の板挟みになりながらもみんなをまとめようと努力しました。その甲斐あってか、茶席は2日間200人余りのお客様を迎えることができ、大学茶道では例のない大盛況でした。大学としては異色のサークル出現に、誰もが準備段階でかなり困惑していたのです。応援してくださった先生方をはじめ、友



入学式の日にお点前を披露

私の大学生活

「点てる！充実した日々」

一期一会も実感！

工学部 情報工学科4年生 吉清直子

人たちや関係者の皆様のおかげでこの大イベントを成功させることができましたのだと思います。

何事もチャレンジしなければ成功もしません。それが成功したときの喜びもひとしおです。私自身も大きく成長できたような気持ちがあります。人々のあたたかさに改めて感謝しています。そして「一期一会」のよさというものを実感し、大切にしていきたいと思っています。



工学部 電気工学科

でぎひでのり
講師 出木秀典 研究室

私の研究室では、太陽電池や薄膜トランジスタ(TFT)等のデバイス用材料となるシリコン(Si)系薄膜の品質を向上し、高品質・高性能なデバイスを開発する研究を行っています。中でも特に力を入れているのが、アモルファスシリコン(a-Si:H)系薄膜です。太陽電池、TFT、コピー機の感光用ドラムなどに利用されています。



プラズマCVDで膜作成中

この材料の利点はプラズマCVDなどの装置を使い、大面積のものが低温で容易に作製できることです。LSIや一部の太陽電池に利用されている結晶Siの場合は、通常800 や1000 といった高温での熱処理が必要です。これに対しa-Si:Hは200 の低温で太陽電池等の作製が可能であるため、プラスチック等の上にデバイス作製が可能です。しかし、問題点も存在します。特に大きな問題は、薄膜作製時に多数の欠陥が発生することです。欠陥が多数存在すると太陽電池の変換効率や、TFTの特性が低下するなどの不都合が起きます。そのため、三洋電機やシャープ等の企業だけでなく、国内の多くの研究機関でも改善方法が研究されています。

最近研究を始めたSi系薄膜材料の一つに、マイクロクリスタルシリコン($\mu\text{-Si:H}$)といわれるものがあります。これは、結晶Siの粒子がa-Si:Hに埋まっているような状態の材料です。結晶Siの粒子内には欠陥はほとんど存在しませんから、低温で結晶Siの粒子を多く含む薄膜が作製できれば、a-Si:Hよりも欠陥の少ない薄膜ができる可能性もあります。



研究室は楽しく

現代社会学部

こんどうふみこ
助教授 近藤富美子 研究室



ロードアイランドにて

グローバル化が進む今日、英語の必要性が唱えられています。外国語でのコミュニケーションにおいて、語学力さえあれば私たちの意図は理解され、コミュニケーションは成功すると一般的に考えられがちです。

しかし、文化の異なった者同士のコミュニケーションは言語力のみでは自文化と同様には成立しません。コミュニケーションとは相手の心の中に「意味」を作り出す過程であり、メッセージの送り手の目的は、送り手が心の中に持っているイメージと同じイメージを受け手の心の中に作り出すことです。従って、文化的情報(Memories, metaphors, maxims, myths)を共有しない者のコミュニケーション、つまり異文化 コミュニケーションを成功させるには、言語能力以外に相手文化の行動様式、価値観、言語使用の適切さのルールなどに関する知識が必要です。

研究テーマの「異文化間コミュニケーション」では、日米間で行われる談話分析をとおして日本語と英語のコミュニケーション・パターンの差異と、日本語パターンで表された英語談話が相手にどう解釈されるかを探索しています。また、コントラスト・カルチュラル・メソッドにより双方の文化を学習者にどう認識させ、異文化間の障害をいかに乗り越えるかなども研究しています。又さらに深くこのテーマを追求すると、人は何故このような表現をとるのかという心理学の研究も必要となってきます。



研究室で学生と

研究室紹介

爽快な風が吹き渡り、名残の桜が時折舞う中、入学を寿ぐ野点席が本学ハイテク・リサーチ・センター前広場にしつらえられた。

今日から仲間となる新一年生とその保護者、そしてご来賓の方々を心を込めたお点前でお迎えし、祝賀に華を添えた。

昨年6月に発足した表千家茶道愛好会会員が中心となって、この催しを実施した。指導者の久賀員子先生とその社中の皆さんにも協力いただいた。亭主を務めた新部長の福山篤史君（工学部情報工学科2年）をはじめとする総勢5名は、この日のために熱心に稽古を重ねてきた。入学式終了後から午後2時までとぎれることなく、およそ300名の客にお点前を披露した。

今村詮工学部長は、「今まで工学部は、華やかだとか雅びやかだとかは無縁だと思っていましたが今日はいいいことですね。落ち着いた雰囲気。もっと男子学生の会員も増えるといいですね。」と述べた。

新入生の瀬戸口潤之介君（現代社会学部1年）は、「敬遠していたほどではなく、飲みやすかった。」と語っていた。



しっとり落ち着いた雰囲気 ちょっと手が震える

喜びの茶席もお開きとなり、愛好会会員と学友会の諸君がテキパキと撤収作業を進めていった。情報工学科教員も腕まくりで手伝った。若い力の未来と希望、そして限りない可能性がその姿から予感された。

合同入学宣誓式

自己を磨き友情を育む大学生活を！ - 新入生585人を迎える -

春の陽気に包まれた中野キャンパスで4月5日（金）、大学院・大学・短大の合同入学宣誓式が挙行された。合わせて585人が希望を抱き、学院に迎えられた。

葉佐井博巳学長は式辞で「自分自身を見つめ直し、自己研鑽に努めるとともに生涯のよき友を多く作ってほしい」と熱く語った。ついで鶴素直総長から「本学の校是である“教育は愛なり”のもとに、学生と教職員一体の交流を期待します」と激励があり、来賓代表で県議会議員・本学評議員の山田利明氏からも期待のメッセージが寄せられた。

新入生の代表3名から「先輩とともに悔いのない学生生活を送ります」と元気な宣誓が体育館に響き、千人近い参列者の拍手の中で式は閉じた。翌6日からのガイダンスでいよいよ本格的な学生生活が始まった。

平成14年度の入学者数

大学院工学研究科博士課程（第4回）1名
大学院工学研究科修士課程（第7回）16名
大学工学部（第36回）321名
大学現代社会学部（第4回）83名
自動車短期大学部（第39回）164名
合計=585名



砂入清史君は2001年9月にPGA認定プロテストに合格し、本学出身者からは第1号のプロ選手となった。

小学校6年よりゴルフを始めた。両親もゴルフ好きで、弟はオーストラリア認定プロというゴルファーである。在学中はゴルフ部主将として活躍し、勉学にも励んでいた。日本学生ゴルフ選手権大会で7位、中四国学生ゴルフ連盟主催の大会で優勝5回、2位3回、その他の大会でも上位を占めた。

賀茂カントリークラブに入社し、研修生としてプロ選手になるべく努力した。中四国大会で優勝(2001年6月スコア-67)、キャスコオープン広島大会で優勝(2001年8月スコア-69、67)、ミッドサマーオープン大会で7位(8月スコア-68、73)の成績だった。



学院をあげての喜び

本学初 プロゴルファーの誕生

平成10年工学部電子工学科卒業 すな いり きよ し 砂入清史

プロ転向後、2001年はアイフルチャンレジカップ(5位タイ)長船オープン(7位タイ)中四国プロゴルフ選手権(優勝)PGA新人戦(2位)にそれぞれ出場した。2002年はクリンフィールオープン15位タイ、イヤマチャレンジカップではプレーオフの末2位と惜しくも優勝を逃した。

現在、チャレンジトーナメントで賞金ランキング5位である。今年度の賞金ランキング上位5位までがJGTトーナメント(日本における最高の大会)に出場できる。ぜひとも上位に残り、活躍していただきたい。

〔ゴルフ部監督 武良徹文〕

講演会・公開講座へどうぞ 地域共同教育研究センター

「地域の中で発展する広島国際学院大学」を目指し、地域とより良い関係を築くために、本年度も講演会・公開講座を次のとおり開催する。

講演会「暮らしの中の諸問題」

日程	演題	講師	内容
6.21(金)	暮らしと金融・経済について	岡田禎之(本学経理部長)	変化する金融と経済について身近な問題点をとりあげる。
6.28(金)	暮らしとITについて	大塚厚二(本学工学部教授)	ITが暮らしの中でどのような役割を果たし、道具となり得るのか考える。
7.5(金)	暮らしと高齢化社会について	目黒輝美(本学現代社会学部助教授)	これからの高齢化社会で、障害者との共生を考えた暮らし方について考える。
7.12(金)	暮らしと政治について	市川太一(前修道大学学長)	暮らしの中の政治について生活者の視点でいろいろと考える。
7.19(金)	暮らしと教育について	高橋 超(広島大学教育学部教授)	多様化する私達の暮らしの中で現在の教育について、問題点も含めて考える。
7.26(金)	暮らしと食品包装容器について	松坂菊生(本学工学部教授)	食品容器リサイクル(環境問題)の現状と展望について述べる。

*会場 = 安芸区民文化センター(安芸区船越南3・2・16) 開催時間 = 13:30~15:30 無料

公開講座

日時	講座名	講師	内容	場所	備考
6/22, 29・7/6, 13 13:00~15:00	海外旅行のための英会話(1)	A.ソーレンセン (本学現代社会学部講師)	すぐに見えるネイティブの講師による英会話	地域共同教育研究センター	受講料2,000円
8/2 10:00~15:00	夏休みキミの自由研究応援します	本学工学部教員	夏休みの自由研究材料が豊富。テーマを選ぶのはキミだ!	工学部各研究室	対象小中学生(申込=瀬野公民館)

*お問い合わせは、地域共同教育研究センターへどうぞ TEL/FAX(082)820-2680

学生が「地域のお役に立ちます」

IT 攻略に力強い味方

地域共同教育研究センター支援

IT講習会に本学の学生が自治体からの要請で、アシスタントとして活躍している。その後受講者から、自分のパソコンでは思うように動かないとか、ソフトの使用方法、デジタルカメラの活用法などについて質問がよせられた。本学の公開講座受講者からも「個別に教えてほしい」との要望が出た。そこで当センターと情報工学科とが連携し、学生を派遣して地域の方々に実践的なパソコン活用法を指導している。



ここ！ここをクリックして！



うむー大分早くなりましたね！

「自宅近くで親切丁寧に教えてもらえ助かる(神内孝二さん)」「こんな便利なマニュアル本があることさえ知らなかった(金子千賀子さん)」と皆さんからは喜びの声しきり。ソフト攻略も進み、パソコンの世界を広げている。

相談内容	学 生	研究室名
海田町IT講習会アシスタント	藤本祐甲利	檜高研究室
	岡 武志	
	伊東 和則	
	永海 天徳	青井研究室
	佐々木 晃 堀 英治	趙 研究室
坂町IT講習会アシスタント	野窪 大輔	神垣研究室
	佐々木 晃 津村 泰史	趙 研究室
	野窪 大輔 横山 佳奈	神垣研究室
デジタルカメラの操作・編集指導	伊東 和則 佐々木嘉宏	檜高研究室
ホームページ開設・更新指導	佐々木 晃	趙 研究室
ホームページ制作	田原 栄児	青井研究室
P C 操 作 指 導	永海 天徳	
	田村 尚貴	
	吉清 直子	
P C操作とインターネットの習得	田村 尚貴	
P Cの設定バックアップネットワーク等技術指導	永海 天徳	
年 賀 状 作 成 ソ フ ト の 習 得	平田 泰史	
	沖田 寿史	
	野窪 大輔	
	永海 天徳	
インターネットと電子メールに関する実践的習得	蔵敷 綾乃	神垣研究室



第4回世界学生 アーチェリー選手権大会出場

工学部メディア情報通信学科1年生 うめ もと こう じ 梅本 幸治

5月18日(土)・19日(日)の両日、同志社大学キャンパスにおいて、世界学生アーチェリー選手権大会の国内最終選考会が行われた。本学の梅本幸治君が第3位になり、タイで行われる第4回世界学生アーチェリー選手権大会に出場することが決まった。

この国内最終選考会は、昨年の全日本学生選手権大会・全日本選手権大会の学生上位20名、およびジュニアナショナルチームの22名で戦った。

初日は、70M72射で2位であった。2日目は少し順位を落としたが、しだいに1位との差をつめていき、1位とわずか4点差で3位となった。大会に出場する学生は高校の先輩後輩なのでチームワークもよく、個人・団体においてもメダルを狙っていく意気込みを見せている。



集中心！練習は粘り強く -